
 岡山醫學會彙報

岡山醫學會通常會

同會は本月十八日午後三時より岡山醫大附屬醫院南臨牀講義室に於て開會せり。田村主幹開會を告げ直ちに左の講演に移る。

第一席 透明中隔と乳嘴體との關係に就きて

解剖學教室 山縣是之君

演者は家兎に於てニツセル氏法及びマルキー氏法を以てせる實驗的研究の結果次の結論に到達したり。

1. 透明中隔内に於て Columna fornicis (nach Winkler u. Potter) 間に散在せる大なる細胞群の一部、同灰白質中に存在する細胞中にて側腦室に面せる比較的稠密に存在する細胞群の極めて一小部及び夫れより内側に位する細胞群の一部並に Nucleus septi の一小部分より起り同側の乳嘴體の外側核及び内側核に終る纖維の存在を證明せり。

2. 其纖維の經過は上部より起るものは Fornixsäule 内に移行し下部よりのものは Bazales Riech fistel に混じり兩者共に乳嘴體の外側核に至り尙ほ一部内側核に入る。(自抄)

第二席 蟾蜍肝臓に於ける色素排泄に就きて

生理學教室 西丸和義君

肝臓よりする色素排泄の機構を研究して之を報告せり。

0.65% Ringer 氏液灌注法によりて、先に腎臓に於て行へると同様な方法により

- | | | | |
|--------------------------------|--------------------|------------------------|-------------------|
| 1. Phenol-solphone phithalein. | 2. Chrysoidin. | 3. Pyronin. | 4. Methylen blau. |
| 5. Safranin. | 6. Patent blau. V. | 7. Patent blau. Sup. | 8. Methyl Violet. |
| 9. Alkali blau. | 10. Indulin. | 11. Carmin Extra pore. | 12. Kongorot. |

等の色素を用ひて實驗し次の結論を得たり。

- 肝臓よりする色素の排泄は大凡其色素の擴散度の大なるもの程速かに且多量に排泄せらるるを原則する。
- 色素が肝臓より排泄せらるる機構は單なる物理的要約即ち濾過、擴散等のみによりて説明する事困難にして他に何等かの條件を考へざるべからず。(自抄)

右終りて午後四時半閉會す。

岡山醫學會通常會

岡山醫學會通常會は四月二十二日午後三時より岡山醫科大學附屬醫院臨牀講義室に開會す。